



★カワハギが固まっている場所へ仕掛けが入れば一荷釣りもある



▲カワハギがヒットしたら一定の速度で巻き上げる
▼終盤3連釣りし、27枚でフィニッシュ



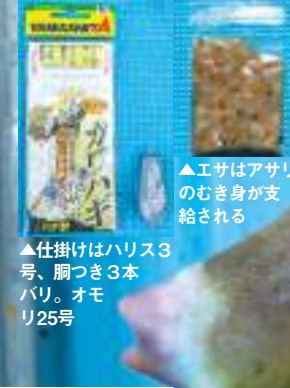
◀ダブルヒットもあった



★当日最大は25センチ



▲アベレージは20センチ前後
▼食味はこれからますますアップする



▲エサはアサリのむき身が支給される
▲仕掛けはハリス3号、胴つき3本バリ。オモリ25号



◀カワハギ釣りは女性にも人気
▶タタキを入れてゼロテンションで待ち良型をゲット



◎取り込みは抜き上げが基本

内房上総湊港出船 撮影◎本誌編集部 内房金谷沖のカワハギ盛況 12月は竹岡沖の浅場も期待



▲食いが立つと一荷釣りも

内房上総湊港の加平丸は、手バネのシャクリ釣りで狙うエビエサのマダイ釣り知られた船宿だが、秋冬のもう一つの人気メニューがカワハギだ。金谷沖など地元船しか入れないポイントを狙うため、落ちて釣りたい方におすすしたい。当日は金谷沖の水深25メートル前後を狙い、15〜25センチのカワハギがトップ27枚と好模様。ワッペンサイズはほとんど交じらなかった。

山田船長によると、水温が下がれば群れが固まると金谷沖は小型主体の数釣りになるとのこと。また、竹岡や上総湊などの地元と一部エリアの船しか入れないが、例年12月中旬になると竹岡沖の岸寄りの浅場でも数が釣れ出すというから、さらにアツいカワハギ釣りが楽しめるようになる。
(詳細は50ページ参照)



▲当日の釣り場は金谷沖の水深25メートル前後



▶宙釣りや底釣りなど思い思いの誘いでカワハギを狙う

◎内房上総湊港・加平丸
山田 孝一船長